

共三冊

地

明治十六癸未年日記
從五月廿七日
至八月八日

早稲田大学図書館
文書 27
A 61
2



癸未之年予始所畫聊以
記陳偶有感慨總之淺薄
畢而又忘却之此卷之名
有何記事一俯仰之間成
昔鴻筆

乙未六月十七日梁香齋人



Small handwritten mark or signature in the upper right corner of the page.

養浩堂日記

癸未五月三十日

明治十六年

余係微恙不能登

書仍浴金杉海水湯四體得伸適廢
筆硯不誌時事狂是數日間胸臆所充
積殆將忘却遂把筆以記之

五月二十七日晴 第四日曜

五月二十七日晴 第四日曜
書月之數游溪川有之仍于午前第十時
訪終大給恒不果除人除海而面層改
中一了是月去月日行紅葉落あり二三
能見物成去る金杉身入海の時大快也

岩倉隆光の得
ぬキ世上大刑
即ち生ず

青井にありては、
僅三三ノ元勳のみを身、
其元勳先帝ノ遺拔
終録も先勳ノ振擢を重んじて、
首飾しは、
唯上は、
力政智は、
知ては、
迫り、

一獨、
陽進、
若例、
互に、
是下、

退下有柳記... 上拜掲... 御り且英國... 深り... 我の... 功... 拜... 部

教... 部... 功... 拜... 部

其深く悉く方... 所... 二十一日

皇座... 午... 内... 拜... 家康... 自... 一... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十... 十一... 十二... 十三... 十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十... 二十一... 二十二... 二十三... 二十四... 二十五... 二十六... 二十七... 二十八... 二十九... 三十... 三十一... 三十二... 三十三... 三十四... 三十五... 三十六... 三十七... 三十八... 三十九... 四十... 四十一... 四十二... 四十三... 四十四... 四十五... 四十六... 四十七... 四十八... 四十九... 五十... 五十一... 五十二... 五十三... 五十四... 五十五... 五十六... 五十七... 五十八... 五十九... 六十... 六十一... 六十二... 六十三... 六十四... 六十五... 六十六... 六十七... 六十八... 六十九... 七十... 七十一... 七十二... 七十三... 七十四... 七十五... 七十六... 七十七... 七十八... 七十九... 八十... 八十一... 八十二... 八十三... 八十四... 八十五... 八十六... 八十七... 八十八... 八十九... 九十... 九十一... 九十二... 九十三... 九十四... 九十五... 九十六... 九十七... 九十八... 九十九... 一百

續... 自... 一... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十... 十一... 十二... 十三... 十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十... 二十一... 二十二... 二十三... 二十四... 二十五... 二十六... 二十七... 二十八... 二十九... 三十... 三十一... 三十二... 三十三... 三十四... 三十五... 三十六... 三十七... 三十八... 三十九... 四十... 四十一... 四十二... 四十三... 四十四... 四十五... 四十六... 四十七... 四十八... 四十九... 五十... 五十一... 五十二... 五十三... 五十四... 五十五... 五十六... 五十七... 五十八... 五十九... 六十... 六十一... 六十二... 六十三... 六十四... 六十五... 六十六... 六十七... 六十八... 六十九... 七十... 七十一... 七十二... 七十三... 七十四... 七十五... 七十六... 七十七... 七十八... 七十九... 八十... 八十一... 八十二... 八十三... 八十四... 八十五... 八十六... 八十七... 八十八... 八十九... 九十... 九十一... 九十二... 九十三... 九十四... 九十五... 九十六... 九十七... 九十八... 九十九... 一百

寺と定の時、遊將為る、所殿と云、傍者、此の
近世、若院と物、交々、流あり、時、白銀、寄附
あり、傳、抄、方、行、在、在、り、と、云、う、相、局、不、思、議、哉、
予、西、御、南、門、と、地、名、及、度、廣、島、洋、光、照、と、
あり、此、石、碑、建、立、之、地、之、洋、光、と、あり、在、西、門、
北、之、東、に、誠、佛、家、一、因、縁、と、云、之、可、う、而、云、
西、郷、之、勝、と、大、安、に、甲、あり、と、云、老、井、の、塚、并、か、つ
片、又、老、井、の、付、あり、此、地、之、喜、南、西、の、碑、
の、親、と、亦、多、く、あり、因、果、と、云、下、に、玉、屋、忠、孝、の
七年、時、象、と、お、此、事、を、解、釋、し、あり、云、ふ、と、云、

碑、石、の、傍、に、地、名、曰、西、郷、社、受、入、杉、梅、類、之、と、云、
す、碑、上、に、老、木、の、榊、木、あり、夕、陽、映、り、映、り、
那、洞、亦、あり、と、長、石、杉、那、洞、の、と、曰、家、某、物、
と、云、ふ、と、云、葉、平、街、と、云、ふ、と、云、ふ、と、云、ふ、
初、傳、在、也、
人、形、所、在、店、那、洞、書、り、れ、り、此、の、傳、也、
予、於、時、
書、内、者、出、勤、
予、故、時、夕、松、名、書、及、大、地、り、と、云、付、了、見、之、と、云、
中、に、弘、起、衛、曰、行、す、杉、石、面、有、六、日、中、々、大、地、飛、

此、地、之、勝、と、大、安、に、甲、あり、と、云、老、井、の、塚、并、か、つ
片、又、老、井、の、付、あり、此、地、之、喜、南、西、の、碑、
の、親、と、亦、多、く、あり、因、果、と、云、下、に、玉、屋、忠、孝、の
七年、時、象、と、お、此、事、を、解、釋、し、あり、云、ふ、と、云、

三十日

定議斗以中

朝去升人午日金子屋名乃年午午檢中及仍乃下午午
以其地乃大然、此、改、
宮内出勤

晚來吉井、年、金子、未、東、改、中、天津、
身、根、常、根、工、不、日、廣、未、多、陸、造、午、根、極、屋、為
日、以、於、切、方、方、外、務、御、補、
中島信乃、自、中、島、
此、一、且、証、為、多、時、性、
考、後、地、身、了、日、防、約、
金子

野之乃屋乃一十大山陸軍卿子守也

佛、
此、部、陸、軍、
此、部、村、田、鏡、下、
年、分、四、
打、
若、鼻、
而、南、事、件、
人、
正、
中、鐵、艦、
東、洋、

吾子、此衆知人の福に英を策組、兵の一國、戦言、如、
と脱走と看做、色已、手負、戦死、即ち邦を捨て、科、何、
事の初定、を、商、景、一

今、朝鮮海、増、倍、門、の、日、不、く、出、金、十、四、五、百、
不、即、ち、三、子、こ、り、の、男、社、の、門、を、ケ、着、の、也、不、り、の、日、の、金、社、
加、へ、せ、い、は、不、可、也、即、ち、石、井、電、屋、局、七、韓、地、の、美、也、
乃、山、の、帰、り、金、の、事、去、月、子、而、入、事、あり、内、証、の、事、
與、世、上、之、急、態、を、野、に、昨、朝、ある、世、來、り、宮、中、也、
然、る、に、以、儀、を、理、を、置、何、事、未、ま、り、と、方、あり、と、証、の、
事、也、惜、余、故、身、流、中、也、有、故、と、道、大、然、り、事、也、

議表臣海國

此、皆、其、出、帝、を、中、也、後、之、世、間、風、潮、は、切、迫、り、
此、状、勢、の、勢、は、多、く、先、の、際、に、知、り、三、面、の、國、
費、一、先、の、其、六、也、賢才と、上、子、置、り、と、論、ん、世、上、景、
境、の、可、防、觀、伊、當、の、為、勝、也、四、也、先、の、第一、着、り、志、遂、
核、内、閣、部、の、所、存、り、て、此、根、軸、と、も、あり、其、枝、葉、也、
海、軍、の、後、孫、大、隈、枝、葉、也、第、二、段、伊、藤、堀、の、情、を、當、
り、處、回、り、上、伊、藤、堀、を、以、て、其、情、を、却、る、仕、態、を、
事、を、其、處、に、上、伊、藤、堀、を、以、て、其、情、を、却、る、仕、態、を、
也、其、處、に、上、伊、藤、堀、を、以、て、其、情、を、却、る、仕、態、を、
能、六、上、達、し、大臣、の、大、器、を、小、換、り、事、敗、れ、何、り

事自方將一紙多其鬼きり此不向高あり
論議而端刺ききき身元回方其由なるは
此等之機密之件は深淵世を成め命あり
三年有法隊

既而方仍為常事不承

全於漢軍に入は兩國の志并に他方東の子然と
聲し。如何に法あり志并の然しむ所也如何
亦也大給りするに繁し機、監定情然し、
即ち其并に十右の共中より其割

既而此乃其國の帰路に東次中なる根後虎身

東次即言根後虎身
西南漢アリ

清國、事情の多細漢語に、此今、事情の詳悉を、電報

李鴻章南方貴州四川廣西總督より上海と山展

清廷より李伯爵訓令より取次り佛公使ノ談判の長引や

や、換此等、清國兵備を整理し習より巨文、軍器大入子

の改李氏、節強黃龍、旗を下賜し其機、詰ん去四

省、兵の指揮し、既機開戦あり

昨日電報、天津より萬、兵の考、上海、向、又雲南

上人宣教師、佛より來、其を、七、其、殺せり此、清、佛

西國和協、物きんて、此、暴、及、り

既而形勢、果、法、時、情、あり、全、辭、此、事、佛、國、西

清國西南の鐵路敷、雲南と瀘州と已先年^{丙午}英
道が測量とて入るに英が遣はる雲南人之う暴殺す英公
使^{英公}清廷に於て戦争を白人とて多し其人を安南に願
し英國思ふ多し奉初あし且已に抗強するは英
俄人朝鮮、元山津、長春用之際、此輩とめをウラス
ク、江蘇地を九月末、北海より東面より作つゆ、出
津、清の我に、他國人朝鮮を爲すに防くべし
、我より右に通るは北方に危難に門起す、此、西南、
一、清國、安南、俄、清、北、非、清、就、是、如、此、事
不、如、此、我、女、も、情、持、た、る、を、恐、る、は、崔、比、也、也

張汝為は、常根、其、方、向、上、三、月、廿、四、日、以、安、南、人、
佛蘭人と俄戦す、崔比也、二、人、皆、早、に、海、軍、に、
戻、り、お、し、ま、る、未、だ、議、院、の、出、張、し、議、院、を、成、り、
安南、國王、今、霸、者、の、海、軍、人、望、り、安、ん、又、其、王、の、
換、り、し、王、位、を、二、百、年、絶、續、系、と、し、人、心、飽、き、
此、節、東、多、う、恨、多、う、天津、と、烟台、と、あ、ら、ん、物、を、選、拔、
陳、事、の、置、り、肝、要、り、其、を、細、く、考、へ、即、ち、大、沽、天津、を、
守、り、防、ぐ、も、芝、罘、を、要、處、に、防、ぐ、如、か、ん、は、芝、罘、に、百、艘、の、艦、隊、を、
備、へ、一、年、十、艘、の、十、年、の、力、以、て、此、港、を、嚴、重、に、萬、一、外、寇、來、
ル、之、に、芝、罘、に、扼、し、内、海、を、容、れ、練、軍、を、定、め、先、に、今、支、那、領、

香港より天津、開港二十ヶ所あり然れ總て川ノ吐キ口ニテ大船、
碇泊シ海港僅ニ三箇所ヲ先ニ香港此ハ英領ト支那國
係ト共次ハ厦門其次ハ芝罘ト向テ芝罘不ツ支那ノ第一烟
喉ト為ル昨午朝鮮線出ル軍艦ホハ皆登州府ヨリ線出テ直
ニ軍艦、積ニ朝鮮、逆テ、且日本右岸如山北港ノ海岸
ニ積置ル朝鮮又ニ比叻浦員ニト烟台ヨリ大沽ニ内海航
路至氣船ニ一晝一夜ヲ費トシテ此處ニ領事ヲ置ル川村奏
議ホ已ニ同意ナリト井上外務卿ハ天津領事ヲ兼務ヲ宜シ申
スレシ

吉井入東込始テ田舎猶目下至急日本然テ報云云

口相光會印考火直按
馬子之舞、文山年一
あり、若下中、年、年
陸下、但、有、有、年
あし、日、持、年、一、あ
口、編、し、し、年、年

事有之間敷マ、見ユトモ李鴻章ノ日本ヲ忍ル實ニ甚シク親睦
を認ホノ意ハ已ニ地ヲ拂ラ無之由 亦云
何如障ニミ一皮面暗日本ヲ蓄金金錢此及北京ニ實際、
為ノ數倍消費シ諸國官皆之ニ持參物産ホハ皆賜
付々中令餘程貧乏ニ相見ヘル也 今日ノ用事ニ李鴻章
ニ意向ニ付テ取調致シ去ル由

六月一日金

今日上杉篤知事沖繩ヨリ元老議官轉任シ、帰京九時
車ヲ極濃ヨリ帰京新橋出迎ヒシトモ折リ副島君入東
談話同氏未夕佛清ノ急志ヲ知ラズ仍テ一同見舞トテ公使館ハ

副島入京前、紅毛
杜鵑花盛開多し、副
島即年思ふ七十五
ヲ賦せり且國中ノ繁華
ヲ被るる稱也又七絶
一書也

未、公使、面會、し、副島、曰、余、今日、上、陸、す、ハ、探、索、
来、り、シ、ミ、ア、ラ、ス、唯、安、南、ノ、事、件、切、迫、相、成、り、シ、歟、聞、キ、及、ヘ、リ、因、
テ、一、言、承、知、イ、タ、シ、及、有、申、述、ヘ、リ、秋、留、ク、七、日、一、夜、ノ、使、宣、
ア、レ、モ、未、ク、確、報、之、シ、且、前、日、此、地、出、發、ノ、佛、公、使、モ、イ、マ、リ、上、
海、着、見、カ、天、津、一、ノ、北、京、カ、何、處、ニ、在、リ、申、シ、ヤ、モ、未、ダ、不、分、
種、ノ、風、聞、ニ、確、信、ヲ、置、キ、難、シ、カ、シ、副、島、曰、ク、抑、シ、安、南、事、件、
如、何、ノ、顛、末、ヲ、知、リ、得、ス、ト、雖、モ、今、貴、邦、ノ、為、メ、謀、ル、意、憤、激、
忍、シ、事、ヲ、行、フ、如、カ、ス、秋、曰、ク、此、事、此、ヲ、幾、許、揖、讓、シ、頓、
ト、讓、ル、ノ、地、ナ、キ、到、レ、誠、曰、ク、曾、ラ、閣、下、ノ、聞、ク、所、依、レ、李、伯、爵、
ト、佛、公、使、ノ、間、ニ、好、機、會、ヲ、得、モ、誤、判、到、リ、シ、ヤ、ク、決、ス、コ、ソ、然、

又、一、波、ヲ、見、ん

中間、議、破、ル、事、ヲ、見、到、レ、誠、痛、ク、ヘ、キ、ナ、リ、副、島、曰、余、政、府、ノ、役、人、
非、ス、余、ハ、友、誼、ヲ、以、テ、責、公、使、ヲ、盡、ス、リ、今、ヤ、貴、國、ノ、勢、ヲ、觀、シ、
四、境、少、ク、ツ、土、地、ヲ、失、フ、ノ、形、跡、アリ、此、時、及、ニ、テ、若、シ、因、循、シ、
事、機、ヲ、誤、レ、他、日、不、可、追、ノ、悔、ヲ、生、ス、ル、ナ、リ、佛、國、ハ、貴、國、ノ、取、テ、
好、敵、ナ、リ、如、何、ト、シ、レ、ハ、今、佛、國、ノ、勢、ハ、獨、ニ、一、ノ、戒、心、アリ、而、シ、テ、
内、ニ、一、名、將、ヲ、新、ク、火、ノ、貴、國、若、シ、戰、端、ヲ、開、カ、ハ、一、時、迅、速、ニ、
大、兵、ヲ、發、シ、彼、ノ、ガ、イ、ガ、ン、ヲ、攻、取、ス、ベ、シ、策、若、シ、此、ノ、出、テ、ス、シ、優、勝、
不、斷、一、日、避、ル、兵、ヲ、出、ガ、バ、彼、ノ、佛、艦、必、シ、沿、海、處、ニ、江、銃、擊、
シ、且、天、津、ヲ、衝、ク、疑、ハ、シ、恐、ラ、ス、貴、國、防、禦、堪、ヘ、ザ、ラン、
力、ヲ、聚、メ、テ、ガ、イ、ガ、ン、ヲ、攻、取、ル、彼、必、シ、盡、ク、彼、地、兵、ヲ、聚、メ、テ、遠、

ク沿海處ミ、カリ及ボスヲ、不得攻戰半年、保タハ佛國
糧ヲ萬里、運ミ能ハス、國內必ス變シ生セン、是ハ貴邦、ヲ為シ
遊説スル、非ハ貴國若シ強ク且ツカニ實ニ我ハ小國、其庇
蔭ヲ被ルリ、誠曰ク若シ貴國、我國、ヲ如キハ同洲ノ中ニ
繼今一旦、和ヲ敗レモ、稍ツ謀ルヘキアリ、今固ノ如キ一旦、敗事
即チ歐洲ノ大害ヲ蒙ルリ、前途、禍實ニ測ルヘカラス、秘魯曰
今又電報アリ、我雲南、放テ土人佛ノ宣教師、數名ヲ殺ス、此
又ハ故障ヲ生シタリ、難哉、此等ノ事、ハ大概不足憂、唯此
安南ノ如キ、佛人其土地十分ノ二ヲ領ス、今其ハ及ントス
何シ、默視スベケン、兵ハ凶器ナリ、今ヤ止ムヲ不得シテ、以テ用

その他計ナレバ、前日佛公使貴國ヲ轉シテ、越南、向フ曰ク
越南事件、付テ特派、命ヲ蒙リタリ、余ニ告ケラレタリ、然ラハ
此一談判、依テ和戰決ミ、ナリ、副島曰、敵國今ノ勢ヲ謀ル、貴
國ノ影響者、直ニ達ス、貴國帝系、萬世傳フ、我國誠、其ハ
幸福、向ス、貴國若シ共和國、變ス、敵國亦或ハ變セン、如何
トシハ、亞細亞氣風、相同シキナリ、余故ニ、貴皇帝ノ位ヲ、萬世ニ
相傳ス、ラ、願フ、大國ノ強榮、ハ、小國ノ安樂、ナリ、已ニ、英公使
ラ、エド予テ、告ケラ、曰ク、清國ノ聖書ヲ、讀ム、他ニ、讀ム、ハ、キ、書、ナレ
ト、黎曰ク、然リ、今、我、民、外、教、入、大、都、國、刑、ヲ、犯、シ、首、領
ヲ、失、シ、ト、ス、必、ス、晚、籍、彼、天、主、教、入、ル、若シ、良、民、ヲ、シ、テ

忠考^ラ發^シ彼^ヲ救^フ奉^セレ^ル能^スハキ^ニ非^ズ到^ル救^ヲ歟^ハ
我國^ノ用^リ為^リカ^ニ誠^ニ曰^ク然^レ則^チ分^テ教^シ事^ヲ南^ニ誠^ニ善^ク
此^レ但^シ一^ニ且^ニ開^キ戰^中途^或挫^折軍^氣失^フ如^キ往^シ百
之^ノ聞^ク貴^國為^ス最^長所^{ヨリ}黎^曰ソ^レ已^ニ開^キ戰^ス敗^ル
素^{アリ}之^ノ覺^悟ス^レ彼^亦容^易必^勝期^セガ^ラ我^亦力^竭
テ^モ曾^國備^戰勝^バカ^レ見^テ一^回水^中投^ス兵^士忽
キ^之救^フ一^回水^中投^セ兵^士其^首筋^ヲ擣^ミテ^之
ヲ^救フ^曰我^死能^ハク^然則^チ命^ノ盡^ル到^レテ^は戰^フベ^シ
ト^終一^役大^亂平^クナ^リ此^事平^生之^ノ慕^フ副^島曰^ク
余^一種^ノ僻^論アリ^今西^國親^睦セ^ル欲^スハ^吸口^ヲ情^ヲ盡^ス

要^スヘ^シ左^ナハ^ハ斷^然情^ヲ破^リ好^ク絶^ツ可^ク若^シ中^間
知^爾如^キ諸^外國^必其^虛隙^ニ乘^シ不^測ノ^禍生^セカ^ラ
何^黎曰^ク余^和睦^ノ情^ヲ得^テ欲^シ若^シ心^久未^タ之^ヲ得^テ
能^ク誠^ニ曰^ク今^貴國^若開^キ戰^亞細^亞始^テ歐^洲ト^接戰^スル^ノ
邊^疆已^往事^況洲^ヲ要^セラ^ル今^國兩^國對^シ公^法
ノ^所在^局外^ヲ為^スヘ^シ難^ハ心^ハ同^洲ノ^好誼^ニ依^テ手^ニ唾^シ
シ^テ大^勝リ^新日^和黎^曰今^兩君^御厚^意即^チ之^ヲ政^治
者^ニ報^スヘ^シ誠^ニ曰^ク今^拙者^一部^李伯^翁奉^贈也^日
好^ク為^シ請^ク之^ヲ謀^シ又^何子^出我^公教^部ヲ^贈ル^好
便^ス必^ス之^ヲ交^付セ^ト告^別而^歸

副島氏今又方澹益、相會之友張涵明日新相約、
俟入未久、知り

土時宮内出勤退下上杉家、多し、在り、知事、面會、此夜、
、榮遷、祝、前、沖繩、均着、く、遠、ふ、近、
、晚天、降雨、才、長、多、ま、お、あ、り、真、副島家、多、う、方、張、工、
、公、他、劉、子、貞、多、肥、前、人、德、久、某、通、辨、鉦、在、立、聲、詩、約、
、唱、副島、韻、和

大筆鴻評獨讓、用、蒙、該、致、器、慙、不、將、
、續、措、趨、時、心、擲、地、鏘、鏗、金、石、文、方、批

方氏、豚、肉、行、詩、副島、贈、之、讀、ミ、タリ、扱、十、時

歸

今日月初、副島黎慶昌上杉舊知事、見

二日土曜

宮内出勤、午後、岳山、忠、造、入、来

、池田、成、意、某、沖、繩、縣、治、上、事、話、可、岩、村

、并、上、杉、謙、良、拜、命、事、情、詳、悉、泡、盛、臺

、重、贈、畫、燒、新、原、院、之、茶、瓶、一、箇、贈

、吉、拜、書、狀、到、未、去、金、杉、湯、湯

、改、蘭、溪、詩、點、削

三日日曜

正徳山後好極曲
松下聽遠會一歌
未似畫野看荒岬
外青

水清火の
玉の光ありとあり

申利公正久振多来王子^{松橋}迄、佐野、五片舟
赤坂多下移但うとあり

年收大八秀世可玩面、楳七飛鳥山、海ノ
朽下一瓢、同き栲臥板床、筑波、遠家、箱
ノ、函情、心、心、勝、北海、三光、佐、同、象、山、碑、鏡
之、後、也、兒、輩、極、後、亦、有、谷、石、山、下、有、根、岸
と、新、鐵、道、一、轍、路、一、路、野、色、水、光、を、弄、し、た、海、に
清流、玉、音、根、岸、と、一、路、丸、函、一、路、妙、り
上、野、^{花園}秋、路、一、栲、五、好、一、晚、食、と、身、た、一、園、合、ら、掛
つ、あり、一、園、中、一、一、臺、中、已、掛、底、可、笑、可、嘆

吉井、平、所、以、て、地、海、一、路、川、あり、海、に、寄、り、
い、道、才、其、内、一、合、と、考、り、字、を、及、び、一、里、向
大、隈、親、親、會、一、あり、と、一、路、実、効、と、歎
一、早、稲、田、大、隈、別、荘、と、一、思、田、別、島、澤
能、吉、井、税、所、昔、能、會、大、木、一、隱、田、自、其、能
佐、賀、縣、令、赴、但、一、考、り、と、一、路、用、事、あり、歎
り、あり、不、来、と、考、り、と

し、る、が、世、の、我、濟、口、也

大人即任天下邊者、儕、小、子、海、邊、好、提、標
童子負、瓢、酒、飛、鳥、山、邊、瀧、野、頭

四日月曜

宮内省出勤 利島、一軒差出、坂南溪
之事、控、遠防、未、得、上、支、請、文、子、任
濟、お、ま、て、天、下、に、大、儒、の、運、を、敷、を、を、分、ち、し、出
す、請、を、賜、し、敷、削、を、を、分、ち、し、出

吉井、利、島、に、相、利、島、氏
吉井、利、島、に、相、利、島、氏

此事、件、也、上、流、之、身、目、を、知、一、時、影
郷、多、く、仍、勿、少、き、に、信、を、切、に、し、但、此、事
照、應、方、也、元、田、を、築、慶、を、保、持、し、子、也

此機、京、山、回、卷

他、日、吉、井、

承、知、り、即、ち

六月、十三、日、

後、不、厭、而、所、

記載、

三、大、臣、

三、條、有、標、

若、食、

六月、甲、子、

後、從、上、在、後、の、記、也、此、に、注、載、

里、向、瓜、名、利、島、の、所、に、利、島、の、方、善、い、兼、光、之、方、を、把、
之、と、與、て、看、る、此、に、收、種、臣、利、已、を、裁、事、也、何、れ、之、也、
即、ち、我、と、斬、り、古、刀、一、本、を、持、り、於、て、夜、吉、井、持、島、
と、白、り、若、見、て、徳、身、に、親、知、り、仍、勿、之、を、脱、贈、す、と、時、
の、善、色、形、而、遂、に、身、を、斬、り、た、り、子、を、切、り、た、り、
利、島、の、骨、骸、今、春、瓜、時、に、得、て、沈、海、を、越、つ、且、勝、色、に、出、
ず、さ、り、人、を、此、米、人、早、く、地、歩、つ、且、思、つ、先、谷、氏、の、言、内、一、
書、出、仕、命、を、付、從、長、政、臣、の、所、
吉、井、曰、此、事、成、る、事、多、く、事、事、之、の、能、片、中、上、に、留、り、三、
大、臣、之、命、を、知、り、何、れ、何、れ、何、れ、上、に、事、向、手、執、り、知、り、
突、然、と、仲、つ、信、從、長、政、臣、を、選、舞、し、上、奏、を、心、す、何、れ、
有、り、何、れ、仍、勿、信、何、れ、何、れ、子、孫、出、仕、事、の、如、く、何、れ、何、れ、
利、島、曰、然、る、權、明、日、真、此、人、也、何、れ、上、に、申、し、上、に、留、り、但、

税所當三二本様
大久保遺宅

指統所
浴骨董を診りし飛た。彼と豪傑多し黒田奮起
得る黒田の氣をうけしり。勝の明安を助けり
晩来小田切の糸う竹内大友も糸徳道も七海長以来扱
入雨中帰

七日木曜

宮内省出勤形に御座り申す。御座り申す。御座り申す。
有根後虎法を所御座り。子も御座り。御座り。御座り。
北堂到る。迎へ申す。御座り。御座り。御座り。
二本様税を御座り。勝も御座り。御座り。御座り。
御座り。御座り。御座り。御座り。御座り。御座り。
御座り。御座り。御座り。御座り。御座り。御座り。

あは先づ御座り。御座り。御座り。御座り。御座り。御座り。
番地御座り。御座り。御座り。御座り。御座り。御座り。
御座り。御座り。御座り。御座り。御座り。御座り。

八日雨

御座り。御座り。御座り。御座り。御座り。御座り。
之。御座り。御座り。御座り。御座り。御座り。御座り。
御座り。御座り。御座り。御座り。御座り。御座り。
御座り。御座り。御座り。御座り。御座り。御座り。
御座り。御座り。御座り。御座り。御座り。御座り。
御座り。御座り。御座り。御座り。御座り。御座り。

花のあはれ様あり如何に
上杉舊事申馬場跡より古蹟人集
りし事尚ほ存る事長後寺本大加藤
之助老僧は海に勧めし事
也

室の多助

子母常盤様より理髪より金持より坊場湯つ湯
相承する事向來主たる事有る事尚ほ存る事
老井の稲田寺より有る事仍し相承する事
揚子より山内本より老井の有人の事
老井の事

十日曜

好天候なり子母可脱ありと候
雨力なりと云ふ西園寺の御事
町より長井寺よりある事
古の事

室の出勤 坂南濱原より別荘へ行つ事

老井より御事 古の事 揚子より御事
弱く候と候事ありと云ふ事

十日

室の出勤 法公使別荘十七日入る事

あり、あつた、まゝ、校、示、方、隈、左、并、ま、る、程、而
伊、地、を、付、ひ、し、し、玉、極、ま、り、席、あり、
い、り、自、の、席、を、ま、り、あ、し、他、の、之、を、之、れ、に、
伊、地、の、か、し、を、席、の、ま、り、心、を、願、は、り、
ま、る、し、

伊、地、の、か、し、を、席、の、ま、り、心、を、願、は、り、
ま、る、し、
伊、地、の、か、し、を、席、の、ま、り、心、を、願、は、り、
ま、る、し、

以上黒田大隈副島総額有り

一、杉、氏、の、付、録、一、部、新、印、一、部、書、也、
お、松、崎、身、来、押、着、付、録、上、木、付、交、付、不、定、親、
以、得、其、隠、分、彫、刻、也、別、必、也、法、西、人、銭、神、と、美、術、
を、美、期、神、之、意、を、一、部、之、と、行、但、非、真、
品、也、生、好、事、之、機、子、伊、地、也、か、直、
六、月、下、
伊、地、の、か、し、を、席、の、ま、り、
伊、地、の、か、し、を、席、の、ま、り、

着花ノ透約
ヲ謝ス
杉氏ノ付録

一、清、國、公、臣、の、お、事、の、状、書、
伊、地、の、か、し、を、席、の、ま、り、
伊、地、の、か、し、を、席、の、ま、り、

啓者日來天氣稍佳人心自和茲以十七日第三日黃曆吉吉午
後三時擬於敝廬治杯杓以邀為軒願不拘形跡若
被惠賜則何喜如之陪坐數友非生客也伏待因者
即頌

黎齋齋閣下台祺 六月十日 宮島波市且拜
再白明日欲贈陳履事以候伏若身有暇好便則填
轉致此意又拜

想大之信必存於心也

西三十日有過物也一如

昨晚奉年教承訂敝廬二十日即禮拜午後三

時在齋齋為酌欣幸之至屆期敬當如約陳
頌事處亦已轉致矣

宮島栗香閣下 弟黎庶昌叩 初九日

晚來所回八之五本末去森縣江前より出張改め
入東津堂一持来身杖隱の抄物二幅ヨシ
少森山竹内大友等福少給、平身身母七
身所回七少森山竹内大友等福少給、平身身母七
夫より全形信方承取所一沾

長崎の事記も、昔仰承、何七家、う龍也、
十二、上、晴、暑、氣、居、土、曜、
鈴、之、島、朝、之、下、年、晴、吉、那、後、年、居、
中、の、身、一、有、お、仰、出、各、後、中、部、後、居、
余、之、中、國、在、細、細、計、之、知、先、之、事、
傍、者、始、之、事、有、之、七、居、之、事、之、到、
之、之、之、長、向、能、之、下、於、用、修、
長、向、之、事、之、上、教、下、之、事、
之、之、皇、帝、之、事、之、事、
之、之、之、之、之、之、之、
之、之、之、之、之、之、之、

井上、説、合、之、能、不、来、之、事、
三、的、河、地、之、事、
子、之、事、
之、之、見、不、其、味、法、持、
明、法、以、保、其、事、
金、於、松、金、之、事、
海、水、區、泉、之、事、
三、之、事、
六月十七日、曇

昨夜杉田及町田諸氏多無恙、杉田如本町
之先年身多病、其後、勢多病也、遂果即
於其故、留考、美、未、有、未、有、誤、信、對、酌、於、十、日、
及、不、問、二、年、振、言、東、東、八、月、正、考、森、縣、以、裁、判、也、
此、言、塗、竹、者、下、村、未、誤、也、

二十

宮内出勤 晚來、涼雨、凄然、吾、常、醉、解、口、
之、用、好、海、之、院、就、事、後、一、晚、詩、之、有、後、白、
三、言、

宮内出勤 吉田、縣、而、名、元、田、向、房、内、出、也、

陳允頤、書、贈、山、某、也、

昨夜、陳允頤、檢、校、監、事、館、會、事、之、年、於、有、念、書、

六月二十日 土曜

早起、可、祝、學、校、の、好、晴、草、樹、受、濕、園、林、如、生、存、
聲、一、時、消、了、小、女、陳、聲、徐、和、鳥、語、妙、也、
晴、板、垣、地、林、吹、阿、歸、國、前、好、有、三、三、瓶、柳、
の、如、一、自、由、堂、新、橋、傳、事、場、三、三、人、社、的、交、
妙、極、檢、校、監、事、館、の、由、事、也、板、垣、地、林、之、交、際、
柳、田、晴、の、陰、合、有、り、
吉田出勤之由、信、講、と、以、信、一、紙、改、也、
物、東、之、所、一、交、三、三、之、也、一、と、中、也、
退下、直、橋、田、所、柳、及、公、使、之、去、園、是、好、在、利、

井上、年、務、之、大、故、也、
其、心、初、見、得、也、

完全、以、時、立、主、師、卷、
初、井、上、松、名、之、也、
幸、也、也、也、也、也、

他、日、吉、井、日、井、上、之、也、
才、年、人、也、只、念、之、初、
同、他、年、之、感、感、心、也、
三、三、三、三、
可、謂、成、成、也、也、也、
之、也、也、也、也、也、
只、念、也、也、也、也、
也、也、也、也、也、也、
上、索、也、也、也、也、

柱垣為存

此の柱垣のり、
岸、越、又、
一、
仕、
西、
或、
多、
知

何れんか、
是、
大、

あり税所、
佛、
三、
税、
二、
根、
三、
更、
来、

二十日曜

二十日曜
陳、
新、
神、
流、
梅、
訪、
非、

二十日曜

二十七日

朝九時霧散身野々と塔中病初の空く視察するに
此上橋本、視察をせざるは此の事なりと云ふ下條
唯在橋本より視察せしむるに橋本より其の
岩代より家より視察せしむるに橋本の事なりと云ふ
岩代橋本と橋本と事なりと云ふの事なりと云ふ
此は此の事なりと云ふの事なりと云ふの事なり
此の事なりと云ふの事なりと云ふの事なりと云ふ
此の事なりと云ふの事なりと云ふの事なりと云ふ

六月二十日清國書記官姚文棟筆談
誠曰頃聞新紙音現法國公使辭上海來東之說果然
守

姚曰未確

誠曰法公使諾李中堂曰此亦南事不與清廷相關
涉多此言然守

姚曰此亦出于擬度傳述之詞未為真

又曰法氣已銜英俄國亦不直其所為

又曰法廷政黨內訌故遠謀未精

又曰黑旗集勇無畏懼意然未知近信否

此輩本無賴今則安南用之

相啓日本書氣清者之書也 祥符御覽

此也一昨の古本書記有此文練方本付法

話中の一詞同く作別紙一通もあ

此甲狼の事同く有之居るものと云

之の事本居方山本種得長政大教之批

か及為そ者流の事官方付し乃宛

法失知の事ヤラヤ中前付わ其不直

二月二十七日 力云云成り

山縣忠孝同

七月十日

彭表并多事、从、言、及、食、其、祿、也、北、澤、ヲ、新、ル

尚、所、也、舞、之、意、者、牙、穂、之、塚、名、舞、之、末、不、達

長、海、也、及、舞、之、外、の、姬、文、棟、入、来、碧、時、也、也、也、

担、入、揚、本、牙、新、十、二、時、抽、日、武、正、女、と、揚、物、也

二、百、山、雨

室、内、出、勤、喜、望、中、均、書、病、人、平、穩

十、二、時、見、舞

七、日、七、岩、倉、家、田、原、三、八、以、来、亦、見、舞、之、末、亦、有、舞

上、家、跡、之、舞、處、昨、夜、亦、お、平、ら、り、と、言、り

看為結好の意、付金新堀岡新一決
手好の時移家の相座下、各ある所、見只今、部老
少、井、川、田、剛、増、博、西尾為忠、多、西孝者、監、能、守
く
家内、少、蘇、海、と、之、舞、と、系、

三日

室の有り、物、名、年、十、七、の、為、り
子、好、七、の、及、之、南、林、只、念、住、山、本、坊、一、束、前、の、信、天、寺
憲、法、天、の、題、保、の、歎、一、丹、山、本、の、如、也、節、灰、燼、を、系
と、致、折、府、由、致、等、の、病、問、一、見、此、分、坊、前、望、也、し、し、と

甚、高、意、旨、然、又、内、の、相、論、改、成、を、り、心、を、り、付、真、一、再、考、
と、折、府、此、法、佛、對、像、之、際、之、是、非、之、法、を、之、親、體、と、改、成、
内、之、意、三、井、上、之、議、之、於、大、改、務、之、由、此、等、一、此、及、陸、軍
有、り、勞、力、因、以、上、也、流、之、を、即、於、實、問、之、り、其、名、在、也、
之、一、三、一、

長、森、系、系、束、相、長、政、の、舞、一、揚、布、之、堀、七、の、系、之、恐
心、折、村、匠、傳、之、束、林、部、分、而、致、之、り、と、也、此、用、生、者
病、之、也、其、之、所、也、心、有、事、

冒雨

朝、夢、即、束、之、り、前、一、決、一、艘、年、好、長、政、訪、以、信、情、力

十三日 曾侯 吳長 行 陸

十四

十五

十六

十七

十八

十九

二十

二十一

二十二

二十三

二十四

二十五

二十六

二十七

二十八

二十九

三十

十

水

乃身如倒身暑中什也賜

十

木

此夜在延邊館中柳門三品苦弄身所
相身如倒身暑中什也賜

與橫濱清國領事陳允頤書

日前接玉音賜以題後高作沉係大手親書 諷誦愛
玩無已 諷之乎大國之音敬拜其賜 酷暑中自然生清
風不覺身在陋室也 剛刻付之卷末 何喜百次 穿頭進
一步 詩中末段頗有關係 公之詩使 栗香重 九鼎大呂
到其過 秋溢羨素 雖非所敢當 平生志氣之所行 亦有
受不詳者 他日流入 華土 名之大 文知東國有文 亦則自今以後
中東往來 益多 天際愈密 豈不一大事 快哉 僕有忘
病以官省 休暇之日 浴 盥 溫 泉 其 創 可 謀 一 聚 也 回 報 達
請 恕 乎 此 敬 頌 養 原 光 生 迨 社 廿 六 年 癸 未 七 月 廿 七 日 頤 者

十三日 曾侯 吳長 行 陸
十四
十五
十六
十七
十八 魏公 仍向在任
十九 王上 吳長 臨行
二十 吳長 公亮
二十一 井上 向車 吳長 公
二十二 魏公 使 奉 談
二十三 吳長 公亮
二十四 吳長 公亮
二十五 吳長 公亮
二十六 吳長 公亮
二十七 吳長 公亮
二十八 吳長 公亮
二十九 吳長 公亮
三十 吳長 公亮

二十日 養正

二十一日

二十二日

二十三日

二十四日

二十五日

二十六日

養正

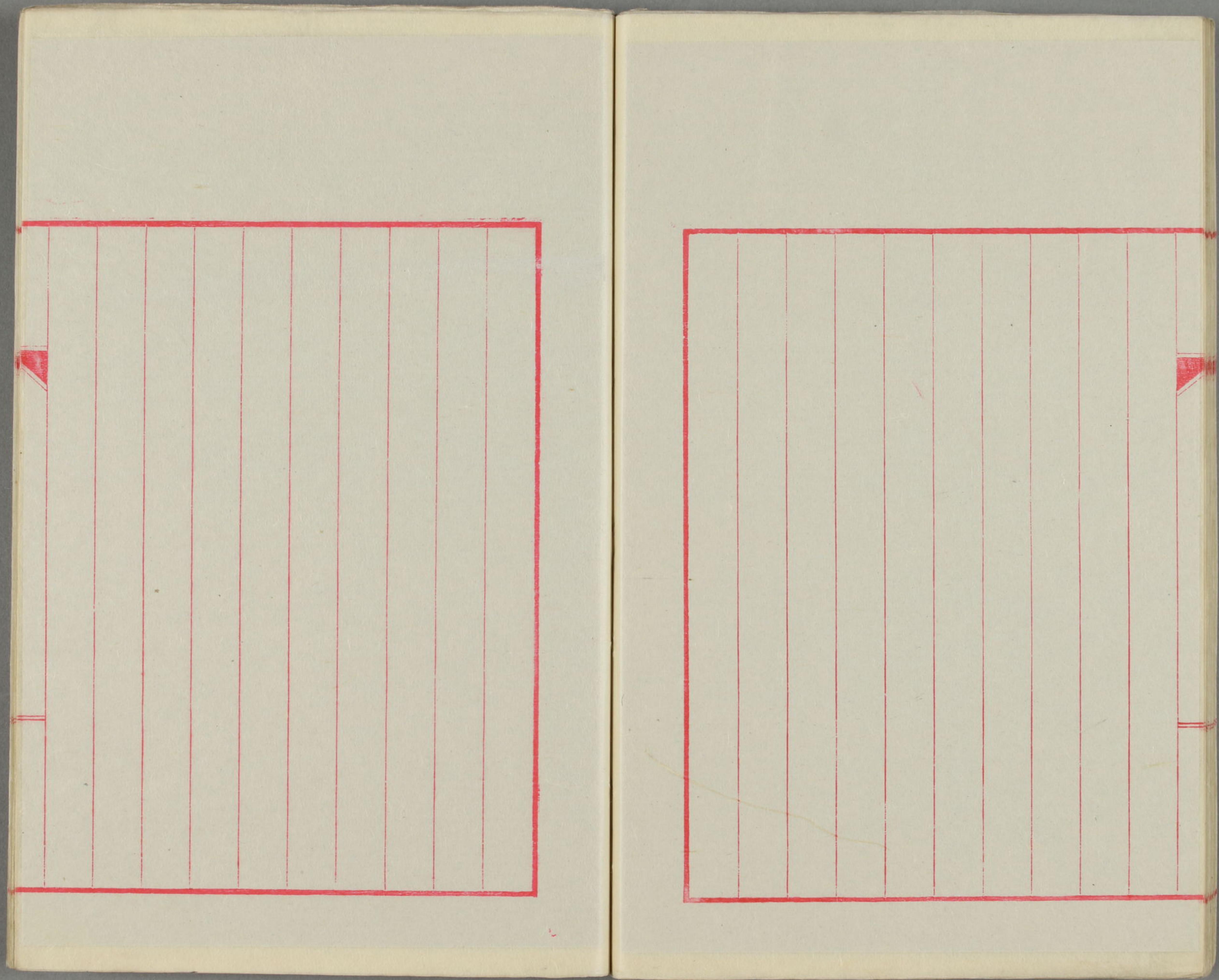
十九日

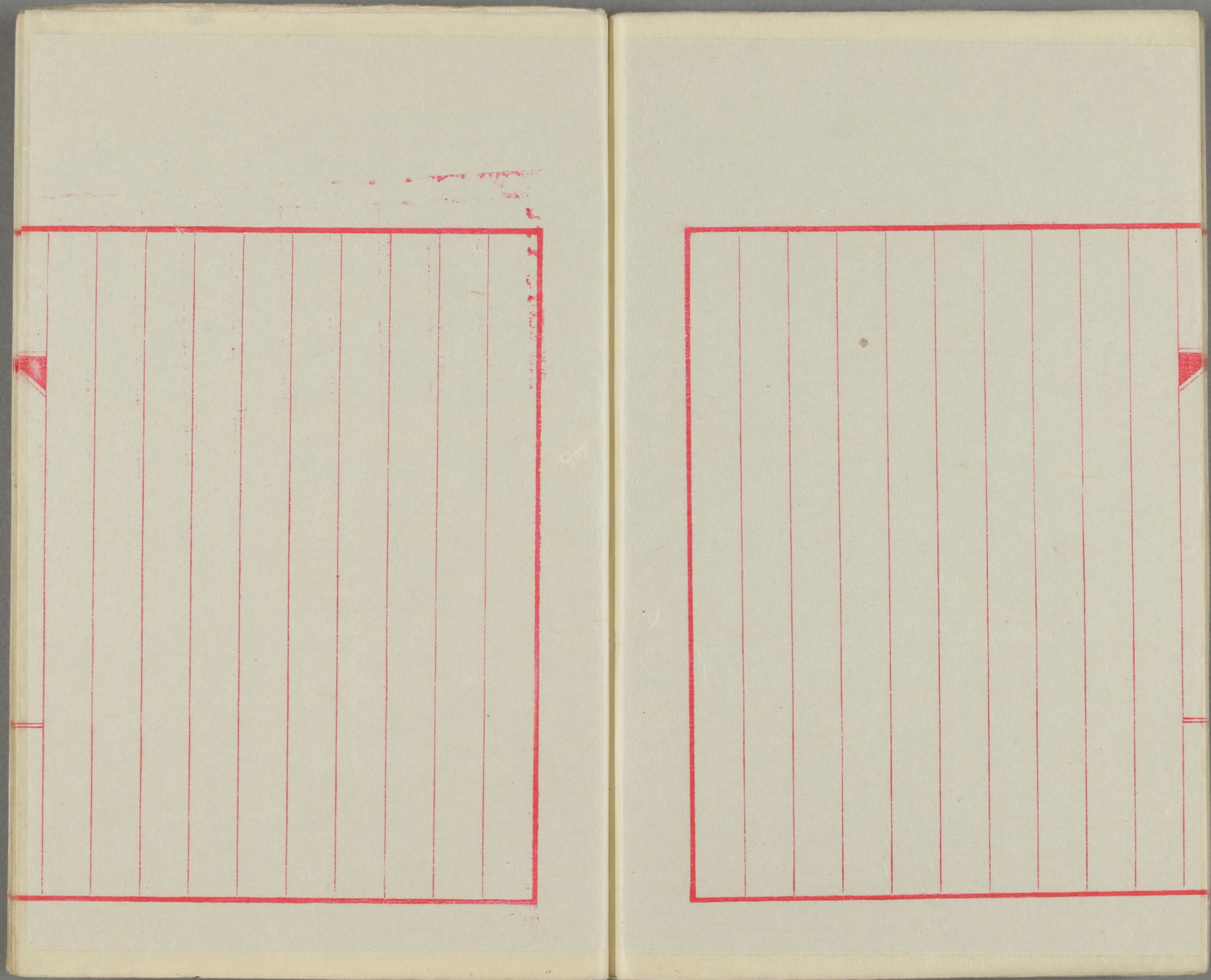
お初宮内省可辨、河内開成、
此臨幸は為に、
馬車之南意、
相見合は為、
浮の如年、
恐るる、
二十日

若念大臣薨去

二十日

聖内省之正心修身之井上其務御馬車向樂約
以倉家之已其進業内白其府之遠游之辨
才誠之教之七睡之如之生利之累之于一
之國之柱之在之于一心之在之如之於夜會之
中之位之方其是公之君之始有之其將之局境
也其守其真之惜成海采大息





井上務時
 此物
 七月廿三日
 酒不飲

八月一日晴暑 示

宮內有勤法
 今且非常
 為士用中
 減易後何
 如燒矣暑
 天已汗滿
 半生事業
 溪東飲水

寺并河開の見

眼前唯有好青山身世曾無半日間此際漫言仁
者樂誰知盛衰忍忍新艱

宮漏沈沈報午遲鷓班未散肅朝儀不言冠帶
苦尖熱曾記樵山六月時

崑山忠遠起抄 伊豆^{イヅ} 寺 起雲^{キクモ} 築持^{キテ}

井上穀^{イノノ} 自^ミ 著^カ 朱子^{シユ} 知^チ 說^セ 始^シ 末^マ 再^ニ 留^ル 意^イ 旨^シ 經^キ 舟
師^シ 多^ク 授^ケ 持^テ 家^カ

寺^テ 并^ニ 河^カ 開^キ 見^ミ
潮^シ 留^ル 一^{ヒト} 波^ハ 經^キ 舟^{フネ} 吃^ク 一^{ヒト} 寺^テ 并^ニ 河^カ 開^キ 見^ミ
傍^{ナリ} 二^ニ 寺^テ 并^ニ 河^カ 開^キ 見^ミ

前河^{マヘカハ} 寺^テ 并^ニ 河^カ 開^キ 見^ミ
煙^ケ 天^{アメ} 近^{チカ} 年^{トシ} 佛^{ブツ} 大^{オホ} 群^{グン} 集^{ジュ} 多^ク 一^{ヒト} 目^メ 三^{サン} 佛^{ブツ} 進^{シン} 金^{キン} 泉^{セン} 三^{サン} 尾^ビ
寺^テ 并^ニ 河^カ 開^キ 見^ミ

二日晴矣 木

書^{カキ} 密^{ヒツ} 勤^{チン} 佛公^{ブツ} 授^ケ 持^テ 家^カ 於^ニ 大^{オホ} 山^{サン} 塔^{トウ} 在^リ 一^{ヒト} 人^{ヒト} 頓^ト 不^レ 平^ニ 佛^{ブツ} 寺^テ 以^テ 爲^ス 始^シ

寺^テ 并^ニ 河^カ 開^キ 見^ミ
未^マ 夕^{シユ} 破^ク 吃^ク 寺^テ 并^ニ 河^カ 開^キ 見^ミ
三^{サン} 日^{ニチ} 晴^{ハル} 矣^{ナリ} 金

朝^{アサ} 六^{ロク} 時^ジ 寺^テ 并^ニ 河^カ 開^キ 見^ミ
寺^テ 并^ニ 河^カ 開^キ 見^ミ

昔行有在可貴梅之印々余亦盡飲之為物新者以
出度之為之他種宿之仍于海之古也其後一好也
徳の造り二月七日也其作之徳めたり
半夜房の夢見君別来久望海東雲遠望無復
居望月枕風聲帶雪叩
公園地高島様花、念ふ事昔年花雪を似て一日中
此、突成如夢、尾音船野跡力亦不與在也
驛迄之真中の進めり小笠氣船が、本牧迄上船那
由天望む其、並氣煙形なり、以、着る如く方角
と七分、海東三、悦

後書傳事陳先願、宅に到り而居於方の武徳志者
里名此後母の御一悦
平川之より思ふ雲翔空遠紅降雨時路冷気乾也
降也
亡父政瑞十六年忌日七月朔、為の小蘇母味人并
母あり指し書留し、不來餅の搗き奉事之客也也
寺が静寂あり、向方園中、點梵、玉の垢多
習
玉望
昨夜可煩一辭涼雨凄然、可煩望之物あり物候
不可也、今朝色前乾土種地濕土減之也

密山忠道入來西居越於各頭仁者矣。保山。好老。其
上。能。弄。之。身。孫。昨。夜。三。時。着。一。下。白。物。東。仍。多。年。中
有。如。柳。絲。之。年。好。三。時。之。年。方。之。死。方。有。報
焉。省。者。勤。之。年。之。九月。四。日。也。休。也。之。劉。在。之。受。了
以。事。

午後法公傳。身。好。之。物。不。之。年。

暑氣日熾。身體想健。適飲孝。之。至。僕。將
遊伊香保。期方在。返。故。與。園。不。泛。舟。里。水
以一叙別。倘。如。惠。許。則。七。日。下。午。一。時。是。借。也。月。初。九。
於新橋山。寄。屋。可。織。舟。以。待。也。昨。日。劉。橫。瀨。

約陳君曰。公使能到。必可陪。趨。願。携。梁。譯
官。來。誠。大。幸。也。舟。中。無。他。客。請。勿。苦。寂。莫。
忽。之。不。宜。即。頌。

黎純齋。閣下。台。祺。八。月。四。日。官。島。紙。一。郎。拜。

黎公侍。返。翰。

手報。通。悉。感。甚。賤。躬。放。昨。前。兩。日。大。發。寒
熱。片。日。則。已。愈。矣。皆。以。近。少。雨。之。故。思。亦
之。游。正。宜。敬。留。借。梁。君。於。初。五。日。踐。約。以。報
即。頌。

官島。東。者。閣下。台。祺。

七月廿日 蔡應昌書

先後訪^レ木地^レ所^レ地^レ陽^レ斗^レ去^レ有^レ山^レ行
之^レ物^レ回^レ應^レ山^レ以^レ振^レ之^レ而^レ層^レ山^レ回^レ山^レ縣^レ也
無^レ備^レ先^レ去^レ了^レ所^レ事^レ如^レ了^レ去^レ了^レ臨^レ
月^レ以^レ之^レ形^レ勢^レ之^レ為^レ帝^レ即^レ從^レ各^レ回^レ去^レ使^レ
事^レ統^レ之^レ景^レ況^レ去^レ了^レ且^レ來^レ國^レ之^レ法^レ使^レ會
征^レ澤^レ之^レ古^レ洋^レ海^レ者^レ一^レ如^レ洋^レ細^レ之^レ流^レ
其^レ方^レ辭^レ去^レ了^レ漢^レ軍^レ之^レ後^レ亦^レ可^レ以^レ歸^レ
法^レ之^レ如^レ公^レ謀^レ一^レ也^レ
獨^レ之^レ而^レ之^レ之^レ之^レ一^レ方^レ而^レ層^レ其^レ他^レ其^レ機^レ密

書^レ世^レ官^レ之^レ每^レ及^レ出^レ居^レ田^レ事^レ中^レ之^レ一^レ人^レ為^レ

形^レ之^レ射^レ之^レ其^レ中^レ之^レ勤^レ於^レ一^レ時^レ返^レ而^レ中^レ

其^レ於^レ轉^レ之^レ物^レ也^レ一^レ各^レ國^レ大^レ使^レ也^レ其^レ善

皆^レ世^レ書^レ世^レ官^レ之^レ每^レ及^レ出^レ居^レ田^レ事^レ中^レ之^レ一^レ人^レ為^レ

才^レ不^レ以^レ難^レ也^レ一^レ而^レ既^レ之^レ也^レ一^レ方^レ之^レ英^レ福

澳^レ之^レ一^レ方^レ之^レ俄^レ法^レ之^レ其^レ陸^レ軍^レ之^レ比^レ較^レ之^レ也

之^レ而^レ為^レ死^レ之^レ事^レ也^レ中^レ之^レ俄^レ法^レ之^レ通^レ也^レ白^レ於^レ

其^レ中^レ之^レ抗^レ抗^レ也^レ一^レ按^レ其^レ澳^レ之^レ事^レ五^レ十^レ萬^レ之^レ兵^レ

一^レ回^レ之^レ事^レ也^レ其^レ中^レ之^レ抗^レ抗^レ也^レ一^レ按^レ其^レ澳^レ之^レ事^レ五^レ十^レ萬^レ之^レ兵^レ

五^レ十^レ萬^レ之^レ兵^レ也^レ其^レ中^レ之^レ抗^レ抗^レ也^レ一^レ按^レ其^レ澳^レ之^レ事^レ五^レ十^レ萬^レ之^レ兵^レ

俄王皇帝即位して而て各國より合程大使書くも
予府に到り二百萬ルウブ以て使際料を奉る日本金
十萬兩
我子に七八回。金に大使の切勤の他、大抵一使一寺
院を借り切獲者共尚も多し盛名に多し且つ
強死危き怖く其死に臨み多し一國あり
法國に在り曾て譯書送るは是程大使に非ず
倫敦に曾て譯し程程今より譯し又は方々に
予高曾て譯し且つ兄弟多し歐洲に朋友多し此心
を以て實際に隨ひて在り接接為るは其
余、平秘黨一人あり其の何れより着て譯し

兄弟に在りて實に事行きたる處に密議せしむるは
予の望望に於て一書に在りしは此よりある間
海邊に曾て譯し我子に開いて意傳へし中
に問ひの答に及ぶと下りて法廷に書きしに問ひ
趨くの手段に法廷に在りて論止む其段中、言はれ
及ばず此書に在り

伊病を辨し書并、百箇事の物語

昔 日曜

朝に寒熱甚し、物候、予の病を

午、山崎屋、山舟并、病を治す、其の

天橋より海に一礼の意 橋原の唐紙を買入力
百松の到り乃波七々、此舞の形み新規に大梅
と形に合事ゆ 諸事おろし 馬車乗る直 橋原
山古藤の面層より上 御書

六の晴

黒井と真三の山壽のききー 船舟おろし 此の且舟
料の豫算より考へん

井と一お為りす 此物別の用ひ七々し 此舟ゆ
必も吉國の事情に不測の憂ひありしを考へ

古藤采り川岸沿りより西岸園の活用

七の晴

黒井と真三の山壽のききー 送迎の手配
美しきありし中より 采者烈公 随分困難ありしを

怨無昌陳元頤 梁殿勳 亦来一 彦梅と彦梅
あり舟入の意 奴三々 小並 尚金あり 大川

追々 蒼蒼 覚規 湖 漸クシラ 空島中 渡り 舟
八百松の計に新梅あり 江上の一見し 涼氣を受ケ 大

窓を 蒼 翠 歡 嬉 梅 三 梅 彦 梅 彦 梅
の詩 鳴 酬 あり 公 使 七 律 一 首 七 律 一 首 賦

す 陳 春 原 七 律 二 首 七 律 二 首 賦 あり 余 七 律

七
得
看
公
使
和
顔
存
在
夢
醒
逆
う
摺
也
摺
一
物
母
推
す
時
時
曆
七
月
吾
可
法
月
屋
紙
山
梅
舟
鐘
光
入
波
打
景
融
如
九
時
到
新
稿
也
公
使
馬
車
の
鳴
き
を
お
き
留
者
の
一
概
を
察
す
物
家
の
心
能
一
也
の
事
察
す
也
也

百

